

第7期三か年計画(2026～2028年度)

経営理念・基本方針「わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます。」

～利用者・地域・職員が繋がり、歴史ある泉会を継承する～

項目	目的と方針	2026年度の重点目標	2027年度の重点目標	2028年度の重点目標
1. 人権の尊重とサービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●意思決定支援を基盤とした適正かつ丁寧な支援を行う。 ●権利擁護・虐待防止、身体拘束適正化等の委員会及び研修の徹底。 ●安心安全な事業運営に備える災害対策・感染症対策等の整備及び災害安否訓練の実施。(応答率 100%) 	サービス管理責任者を中心とした支援計画作成・モニタリング実施等の手法の確認・再検討をする。	サービス管理責任者を中心とした支援計画の共有・実施	サービス管理責任者を中心とした支援計画の効果を検証
		人権・意思決定支援・安全配慮に関する法人の考え方(利用者の安心と尊厳を守り、味方であり続ける支援、本人の意思を引き出す支援)を全職員で共有し、日々の支援で迷った際に立ち返えることのできる基準を整える。	支援や事故防止の振り返りを組織的に行い、支援における悩みや課題を事業所間でも共有できる仕組みを構築し、サービスの質と安全性を高める。	人権尊重と安心安全が日常業務に定着し、第三者からも信頼される支援体制を確立する
2. 人財確保と財務基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の安定的・持続的運営を確保する。 ●利用者への安定したサービス提供を維持する。 	経営コンサルを導入し、財務データや人員体制など客観的な資料に基づいた現状分析を実施することで適切な人員配置の検証と、サービスが継続可能な財源を把握する。	現状分析に基づき、定期的な昇給体系の再構築など、財務基盤強化のための目標を期首に設定し、目標達成のための施策提案を実行する。	実行した施策の効果検証を行い、必要に応じて修正や改善を実施するとともに、内部で回る仕組みづくりを行いコンサルに依存せず施策を定着化させる。

	<p>●泉会や福祉職に自信と誇りを持てるよう積極的に魅力の発信を行う。</p> <p>●誰もが働きやすい職場環境を目指し職員の心身の健康を維持し、職員間の繋がりを強化する。</p>	<p>福祉職の魅力発信に関する現状把握と課題整理、魅力発信の方向性・テーマの整理（法人らしさの明確化）</p>	<p>法人内外に向けた広報の充実、職員が自ら発信に関われる仕組みづくり、採用活動と連動した魅力発信の強化</p>	<p>魅力発信の取組の検証・評価、職員の意識変化や定着状況の確認、成果を踏まえた発信内容・手法の改善</p>
<p>3. 利用者支援時間確保のための生産性向上</p>	<p>●DX推進による業務効率化</p>	<p>ICT (IoT) ソフト、各種機器等の導入を視野に入れ、事前調査を実施する。</p>	<p>具体的な機器の選定及び補助金活用の検討、あわせて基盤となるハード環境の整備を図る。</p>	<p>ICTソフト、各種機器等の導入を行い、間接業務の省力化を図る。</p>
	<p>●ボランティア、自治体、関係機関と積極的に繋がり、泉会発足から70年、「地域で福祉を必要とされる方へ支援を行う」思いに立ち返り行動する。</p>	<p>地域自立支援協議会などへ積極的に参加し、各事業所の地域福祉ニーズを把握し、地域公益活動について検討する。</p>	<p>地域公益活動の実施に向けた取り組みを行う。</p>	<p>地域公益活動を実施する。</p>
<p>4. 泉会の地域福祉における役割と使命</p>		<p>法人の理念・歴史・地域での役割を整理し、職員の共通認識とする。</p>	<p>地域や関係機関とのつながりを深め、具体的な連携を広げる。</p>	<p>地域の困りごとを受け止め、支援や連携につなぐことで「困ったら相談される法人」として信頼を積み重ねる。</p>